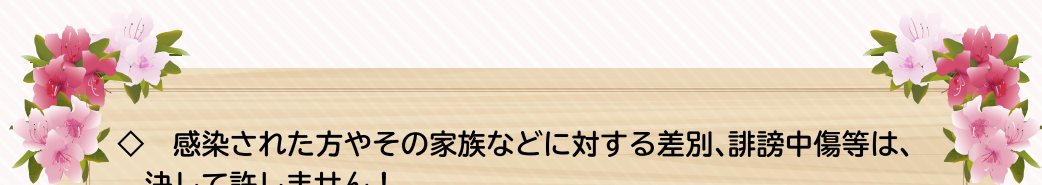


「新型コロナとの闘いを乗り越える オールとちぎ宣言」

新型コロナは、誰もが感染しうる病気です。私たちが闘っているのは、ウイルスであり、人ではありません。

感染された方やその家族等への偏見や差別、誹謗中傷等は、対象となる人の心身を深く傷つけ、平穏な生活を脅かすばかりでなく、差別を恐れて受診をためらうなどの行動に繋がり、更なる感染の拡大という負の連鎖を招きかねません。

県と市町は、県民の皆さまと一緒に、大切な人や暮らしを守るため、“おもいやり”と“やさしさ”を持って、新型コロナとの闘いを乗り越えていくことをここに宣言します。



- ◇ 感染された方やその家族などに対する差別、誹謗中傷等は、決して許しません！
- ◇ 医療従事者をはじめ、わたしたちの健康や暮らしを支えるために奮闘されている方々に心から感謝し、エールをおくります！
- ◇ 県外から来られる方々を非難せず、お互いに尊重し合います！
- ◇ 県民の皆さまとともに、互いの立場をおもいやる心とやさしさを忘れず、新型コロナとの闘いを乗り越えていきます！

令和2(2020)年8月21日

栃木県

宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市
日光市	小山市	真岡市	大田原市	矢板市
那須塩原市	さくら市	那須烏山市	下野市	上三川町
益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	壬生町
野木町	塩谷町	高根沢町	那須町	那珂川町



ふれあいと思いやりのあるまち

おやま

もし、自分や自分の大切な人が新型コロナに感染したら……

コロナ禍の今こそ、「人権」について考えてみませんか？

新型コロナウイルスによる「偏見」や「差別」をなくす取組



オレンジリボンは、小山市発祥で、児童虐待防止運動に使用されています。では、シトラスリボンプロジェクトという運動を知っていますか？

ただいま、おかえりって言いあえるまちに
シトラスリボンプロジェクト



人権推進課の窓口に配布用リボンがあります。

知っています！この運動は、たとえ新型コロナウイルスに感染しても、だれもが地域で笑顔の暮らしを取り戻せる社会を目指しています。

栃木県では、「オールとちぎ宣言」が出されましたね。小山市では、市内の子どもたちとそれを応援する大人の思いをもとに「いじめゼロ宣言2020-2021」を作成して、安心して生活できる学校づくりを目指していますよ。

「思いやりとやさしさで新型コロナを乗り越えよう」

おやまっ子 いじめゼロ宣言 2020-2021



新型コロナは誰もが感染する心配のある病気です。不安に感じることもあるでしょう。でも、わたしたちの恐れる相手はウイルスであって人ではありません。

「いじめゼロ子どもサミット」に寄せられた、いじめを絶対に許さない勇気あるおやまっ子のみなさんの思いをもとに、今まで以上に安心して生活できる学校づくりをめざし、次のことを宣言します。

いじめや差別を許しません

1 感染した人やその家族に対して、自分がされていやなことは、絶対にしません

言わないよ
言われていや
あの子もいっしょ

感謝とエールを送ります

2 わたしたちの大切な命や暮らしを守るためにがんばっている人に感謝し、エールを送ります

広げよう
うわさじゃなくて
思いやり

お互いに尊重し合います

3 自分が正しいと思ったことでも、一度立ち止まり、相手の気持ちを考えてから行動します

気をつけて
正しいつもりが
傷つける

力を合わせて乗り越えていきます

4 お互いを思いやり、やさしい言葉をかけ合って、みんなが笑顔で過ごせる学校にします

考えよう
言葉一つで
未来が変わる

この宣言は、「新型コロナとの闘いを乗り越えるオールとちぎ宣言」、児童生徒のみなさんから寄せられた「おやまっ子いじめゼロスローガン」、みなさんを応援する「小山市いじめ等防止市民会議」の委員のみなさんから寄せられた声をもとに作成しています。

令和2(2020)年9月16日

R2 いじめゼロ子どもサミット R2 小山市いじめ等防止市民会議
小山市・小山市教育委員会



では、新型コロナウイルスによる偏見や差別について、次のページで詳しく考えてみようか。



じんけん博士

2020(令和2)年12月発行

小山市役所人権推進課

☎0285-22-9292

小山市教育委員会生涯学習課

☎0285-22-9663

人権相談

毎月第2金曜日(予約不要)

午前10時～午後3時

小山市役所内(場所は人権推進課にお問い合わせください。)



人権についていっしょに考えてみませんか？

ホームページ

小山市 人権教育

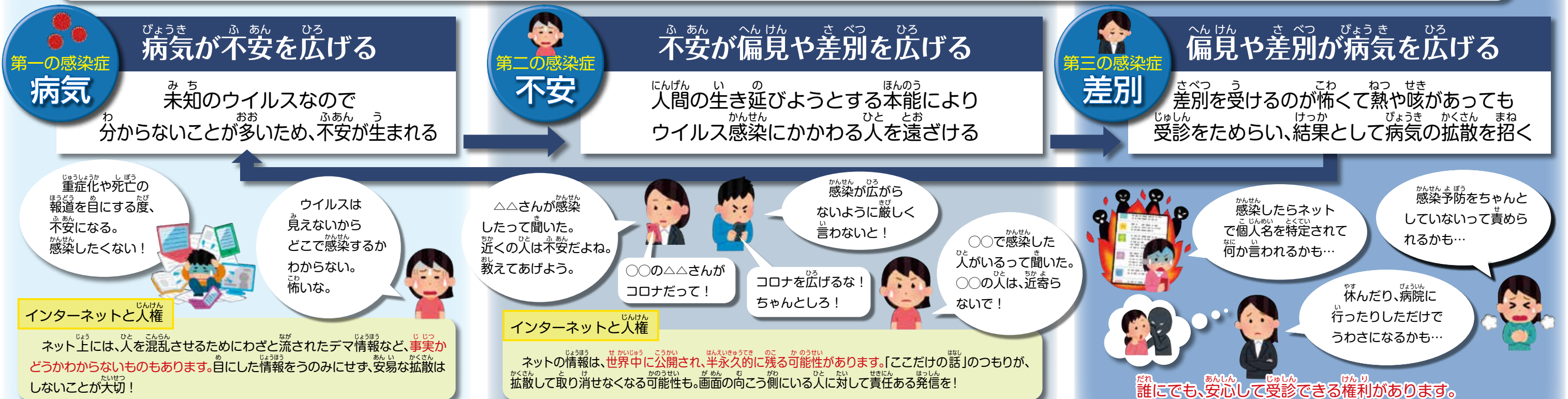
検索

「いじめゼロ宣言・スローガン」はこちらで詳しく！



小山市教育委員会

1. 新型コロナウイルスによる偏見や差別はどうして生まれるのでしょうか。3つの感染症を知って、負のスパイラルを断ち切ろう！



2. 偏見や差別をなくすには、どうすればよいでしょうか。自分のこととして捉え、自分にできることを考えよう！

例えば…近所に住んでいる△△さんが感染しました。あなたの心の中に、こんな気持ちはありませんか？

①とにかく不安な気持ち

とにかく感染が怖い！
悪いとは思うけど、ウイルスに関わる人は近寄らないで欲しい！

感染を不安に思うのは、多くの人がもっている気持ちですね。でも、不安のあまり冷静さを失っていませんか？

学ぶことで冷静になりましょう。

不安な気持ちに振り回されて、情報をそのまま受け入れるだけだったかも。冷静な判断ができていなかったな。

冷静に考えてみたら、大切なのは私の人権だけじゃないよね。

②みんなのことを考える気持ち

みんなきっと知りたいよね。
△△さんが感染したこと、教えてあげよう！みんなのためよ！

みんなのことを考える気持ちは大切ですね。でも、感染された方も「みんな」の中に入っていますか？

感染された方の立場に立って考えてみましょう。

私だったら、勝手に自分の情報を広められるのは嫌だな。

感染された方にも、みんなと同じように人権があるよね。

③自分の正義を主張したい気持ち

感染予防をしっかりしないからだ！迷惑だ！

きっと感染予防を頑張っているのですね。行動が制限されてストレスがたまっていますか？

自分の頑張りにもエールを送りましょう。

自分は頑張っているのに、頑張っていない人がいると思うとイライラして…「悪い」って決めつけて傷つけていたかも。

まず自分のことを認め、大切にしないと、相手のことを考える心の余裕がもてないかも。自己肯定感を高めることが人権尊重につながるね。

④感染された方を心配する気持ち

大丈夫かな。
きっといろいろ心配だね。何をしたらいいかな。

病気の時は、きっと心細いでしょうね。また、病気が治っても不安があるかもしれませんね。

自分がされたらうれしいことをしましょう。

私だったら、どんな言葉をかけられるとうれしいかな。自分だって、いつ感染するかわからないよね。

周りの人の人権を大切にすることは、自分の人権も大切にされる雰囲気ができるってことだね。

人権について、どんなことに気付きましたか？「気付き」を人権尊重につなげましょう！